

樋門無動力化検討業務 特記仕様書

1 目的

本業務は、津波浸水想定区域内に位置する徳島県南部総合県民局(美波庁舎)管内(海陽町)の樋門17箇所について、「樋門樋管ゲート形式検討の手引き」(以下、手引き)に基づき、樋門無動力化の検討を行うものである。

2 実施内容

1)計画準備

本業務の目的・主旨を十分理解したうえで、業務実施にあたっての技術の方針および作業スケジュールを検討し、業務計画書を作成する。

2)現地調査

既存設備の設置状況、土砂の堆積状況、背後地の利用状況等を把握する。

3)資料収集整理

既往の調査・計画関連資料、操作頻度等を収集し、整理する。

4)点検および健全度評価

「ゲート点検・整備要領(案)」に基づき、点検および健全度評価を実施する。

5)無動力化の検討

現地調査、資料収集整理、点検および健全度評価の結果、各樋門を既存施設のまま無動力化することが可能か、更新に伴い無動力化することが可能かを整理する。

なお、既存施設を更新したとしても、無動力化することが困難な場合は、明確な理由を整理すること。

6)概算工事費の算定

各樋門ごとに無動力化対策に要する概算工事費を算定する。

7)検討結果の整理

各樋門毎に現地条件、操作頻度等、健全度評価、無動力化の可否、概

算工事費を整理した表を作成する。

8) 報告書作成

前述までの作業の方法, 過程, 結論について記した報告書を作成する。
提出する成果は次のとおりである。

- (a) 紙媒体報告書(A4チューブファイル綴じ) 2部
- (b) 報告書原稿(電子データ) 2部(正・副2枚)

9) 打ち合わせ協議

打合せ協議は原則として, 次の時点で実施する。
ただし, 電話等により発注者の意図が反映できるよう配慮する。

- (a) 業務着手時
- (b) 中間打合せ時(1回)
- (c) 成果品納入時